

アカウミガメ

Caretta caretta (Linnaeus)

カメ目ウミガメ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類

選定理由

本州中部以南の砂浜海岸に上陸して産卵する唯一のウミガメであり、志賀町富来地区の増穂浦で産卵孵化したのが日本海側における北限記録となっている。

形態

甲長70～100cm。体色は赤褐色。頭部の前額板は5枚(4枚のことがある)、背甲の肋甲板は5対(4対や左右で異なることがある)。前肢にはふつう2本のかぎ爪がある。子ガメは黒褐色で背甲も柔らかい。

国内分布

茨城県以南の太平洋岸および南西諸島に産卵場があり、その近海を中心に成体がみられる。

県内分布

これまでの採捕漂着記録では、春から夏に回遊してくる個体は甲長の大きい傾向があり、冬季は子ガメと幼体が多い。内灘、富来、門前、珠洲で産卵(孵化したのは内灘、富来)、片山津、門前で上陸が記録されている。

生態

日本で孵化した子ガメは黒潮に乗って北太平洋に運ばれゆっくりと成長し、その後北アメリカ沿岸にたどり着いて成体になると考えられる。しかし成長したカメがどのような経路で、何年後に日本に戻ってくるかは不詳。性成熟した個体は日本の沿岸で繁殖をくりかえすが、回遊の範囲はかなり広い。

生息地の条件

海水温は25℃前後が適温。石川県では孵化に適する砂中温度の保たれる期間が短いため、5、6月に産卵が行われ、8、9月の気温が平年より高くないと孵化できないのではないかと推定される。

生存の危機

上陸して産卵できるような暗く静かな砂浜海岸がきわめて少ない。産卵場の環境保護のためには、海浜への自動車の乗り入れ禁止や人工照明の軽減が必要である。(A)

特記事項

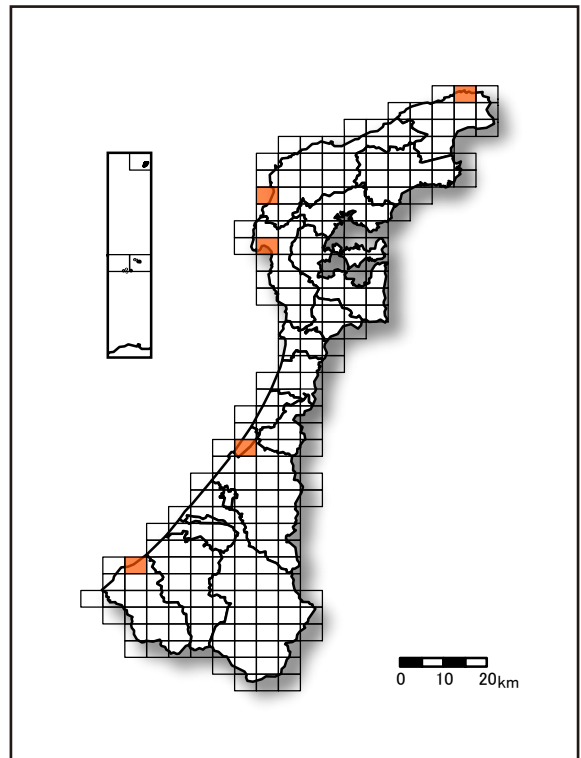
上陸産卵以外は人目にふれる機会が少ないため、海域での生態はまだ不明の部分が多い。

参考文献

内田至 1998. 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. p.236-237. 日本水産資源保護協会.
亀崎直樹 1996. 日本動物大百科 第5巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類. p.56-58, 62. 平凡社.
徳本洋 1984. 両生爬虫類研究会誌(30):1-9.
松村初男 1996. 石川県の両生・爬虫類. p.61-72. 石川県.
松村初男・山下郁 1996. のと海洋ふれあいセンター研究報告(2):29-38.



写真提供者: 松村初男



県内の分布